10	オペレーショナル・リスク・アセットの額　［９］×12.5	

ＯＲ２	ＢＩＣの構成要素	当期末	前期末	前々期末
1	ＩＬＤＣ　Ｍｉｎ［Ａｂｓ（［２］－［３］）；2.25％×［４］＋［５］			
2	資金運用収益			
3	資金調達費用			
4	金利収益資産			
5	受取配当金			
6	ＳＣ　Ｍａｘ［［７］，［８］］＋Ｍａｘ［［９］，［10］］			
7	役務取引等収益			
8	役務取引等費用			
9	その他業務収益			
10	その他業務費用			
11	ＦＣ　Ａｂｓ［［12］］＋Ａｂｓ［［13］］			
12	商品有価証券勘定及び売付商品債券勘定のネット損益			
13	商品有価証券勘定及び売付商品債券勘定以外の勘定のネット損益			
14	ＢＩ　［１］＋［６］＋［11］			
15	ＢＩＣ　［14］×掛目（12％　ｏｒ　15％　ｏｒ　18％）			
16	除外特例の対象となる連結子法人等又は事業部門を含むＢＩ			
17	除外特例によって除外したＢＩ　［16］－［14］			

ＯＲ１	オペレーショナル・リスク損失の推	当期末	前期末	前々期	ハの前	ニの前	ホの前	への前	トの前	チの前	リの前	直近

	移	（イ）	（ロ）	末（ハ）	期末（ニ）	期末（ホ）	期末（ヘ）	期末（ト）	期末（チ）	期末（リ）	期末（ヌ）	10年間の平均（ル）
200万円を超える損失を集計したもの												
1	ネットの損失の合計額（特殊損失控除前）											
2	損失の件数											
3	特殊損失の総額											
4	特殊損失の件数											
5	ネットの損失の合計額（特殊損失控除後）											

その他	

（注）
1　ＩＬＭの値は、小数点以下４位未満の端数があるときはこれを切り捨て、小数点以下４位まで記載する。
2　使用している計測方式に該当する表（ＯＲ２、ＯＲ１）及びＯＲ３に記載する。
3　使用していない計測方式については記載を要しない（空欄）。
4　ＯＲ１において「損失の件数」が50件の場合は「50」と記載する（数字のみ。「特殊損失の件数」も同様。）。
5　ＯＲ１において直近５年以上10年未満の内部損失データを用いて、オペレーショナル・リスク相当額の算出を行う場合には、ル欄中「直近10年間」を「直近５年以上の計測期間」と読み替えるものとする。
6　ＯＲ２において、下線は直近３年間の平均値を示す。
7　ＯＲ３において、該当する値がない場合には空欄とする。なお、［７］告示第250条第１項第２号ロＩＬＭ又は告示第250条第１項第３号ＩＬＭに該当する値は常に「１」とする。
8　「その他」は必要に応じて記載する。例えば、告示第256条に定めるＩＬＭ（行政庁指定ＩＬＭ）を利用する際には、その旨を記載する。